



Strategy for Low Fuel Consumption

低燃費タイヤへの取り組み

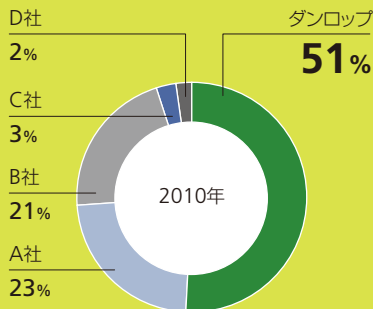


日本ではラベリング制度*が開始されたことにより、低燃費タイヤへの関心が高まっています。当社グループでは、今後、拡大が見込まれる低燃費タイヤの技術開発・商品化の取り組みを強化しています。

* 低燃費タイヤ等の普及促進に関する表示ガイドライン

低燃費タイヤで国内トップシェアを獲得

低燃費タイヤ販売本数
メーカー別構成比



(注)1. (株)日本能率協会総合研究所報道発表資料 (2011年2月17日)より
2. 国内大手カー用品店(タイヤ取り扱い)上位2社における調査

2010年1月、世界に先駆けて、日本で低燃費タイヤのラベリング制度がスタートしました。この制度では補修用の夏タイヤを対象に、低燃費性能を表す「転がり抵抗性能」と安全性に関わる「ウエットグリップ性能」を評価し、この二つの性能がある一定値を満たすものを「低燃費タイヤ」と定義して統一マークをラベルに

表記することができます。当社グループは、このラベリング制度に対応した低燃費タイヤ「ENASAVE(エナセーブ)」シリーズの3商品を豊富なサイズバリエーションでいち早く発売しました。その結果、2010年の国内大手カー用品店での低燃費タイヤの販売本数シェアで、ダンロップが1位を獲得しました。

エナセーブ 97



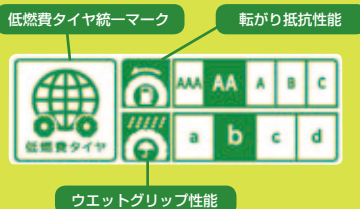
エナセーブ EC202



エナセーブ RV503



「低燃費タイヤ」の表示例



「低燃費タイヤ」とは、転がり抵抗の等級がAAA～A、ウエットグリップ性能の等級がa～dの範囲内にあるもので、その要件を満たしたタイヤだけに「低燃費タイヤ統一マーク」が表示されます。

Tires

LE MANS 4

➡ 騒音エネルギー 13% 低減*1

➡ 燃費 3.8% 向上*1

*1 当社従来品「LE MANS LM703」
との比較



商品ラインアップを拡充

低燃費タイヤのラインアップ拡充のため、2011年2月には、独自技術である特殊吸音スポンジを搭載し静粛性を向上させた低燃費タイヤ「LE MANS 4(ル・マンフォー)」を発売しました。これにより、ダンロップブランドで販売する補修用夏タイヤのうち80%以上が、ラベリング制度対応の「低燃費タイヤ」となりました。

新車用タイヤでは、環境対応車を対象

に「エナセーブ」ブランドのタイヤ納入を進めており、すでに電気自動車やハイブリッド自動車などへの採用が続々と決定しています。

さらに、二輪の世界にも「エナセーブ」ブランドを拡大し、モーターサイクル用タイヤでは当社初となる環境対応タイヤ「SPORTMAX ENASAVE(スポーツマックス エナセーブ)」を市場投入しました。

SPORTMAX
ENASAVE

<フロント> 転がり抵抗約20%低減*2

<リア> 転がり抵抗約30%低減*2

➡ 実燃費2~3%向上*2

*2 当社従来品「SPORTMAX
ROADSMART」との比較



<フロント>

<リア>



(注)一部サイズは、転がり抵抗性能で「A」、ウエットグリップ性能で「c」にグレードされます。

今後の取り組み

自動車への環境規制強化を背景に、今後、世界的にも低燃費タイヤの普及拡大が見込まれます。当社グループの海外展開については、新車メーカーからの要求、欧米の環境規制、ラベリング対応やその他出荷先地域のニーズに対応して順次展開していく予定です。

また、中長期的技術テーマとして取り組んでいる「50%転がり抵抗低減タイヤ」については、2015年の発売に向けて順調に開発を進めています。環境対応タイヤのもう一つの方向性である「100%石油外天然資源タイヤ」に関しては、基礎・要素技術開発が完了し、2013年の発

売に向けて、量産化技術の確立を進めている段階です。

当社グループは、今後、拡大が予想される低燃費タイヤの開発・商品化の取り組みをさらに強化してまいります。